

第2 生息地

【生息確認場所】 砺波市鷹栖 (Takanosu) と小矢部市水島との境界付近。出町外六ヶ村用水のコンクリートの側壁面。庄川扇状地の扇端からのおよそ 10km の距離。

【確認日】 2002 年 7 月 7 日

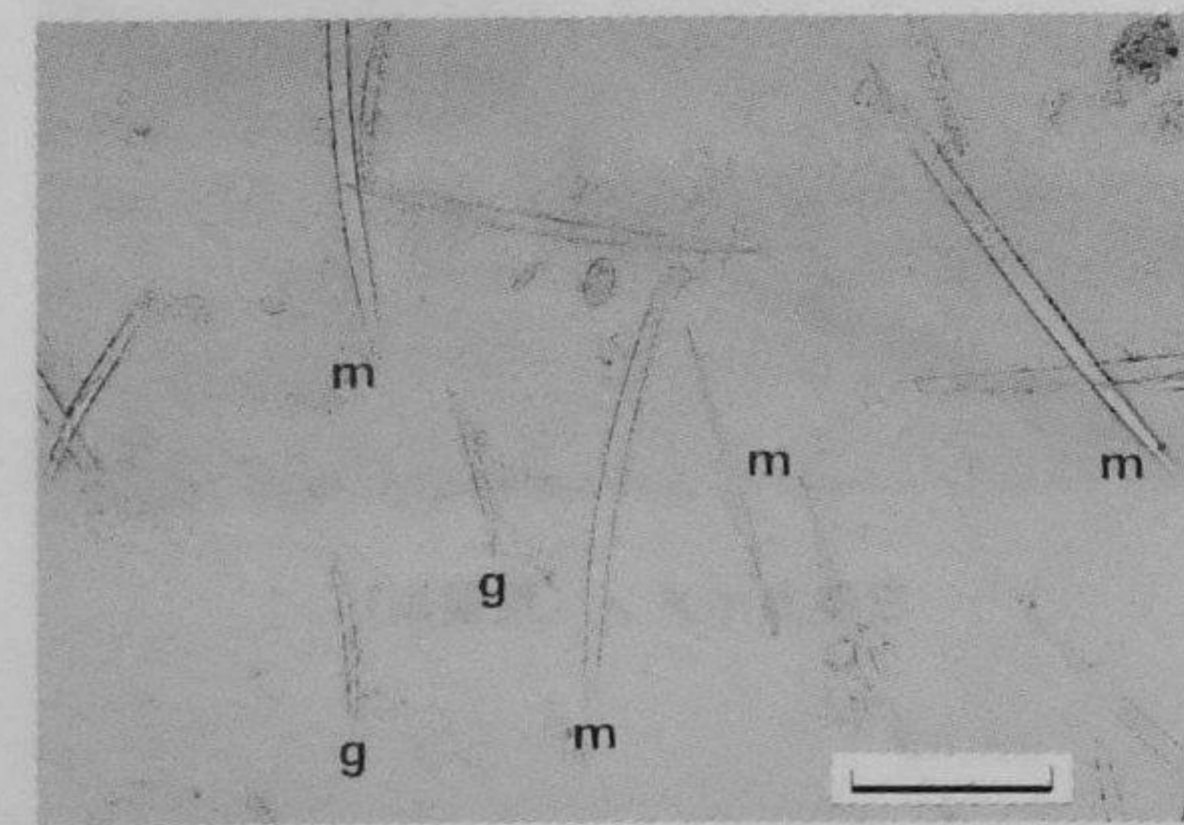
【採取者】 布村昇



出町六ヶ村用水での生息場所風景



鷹栖での生息状況



ヨワカイメンの骨片顕微鏡写真、骨格骨片 (m) と芽球骨片 (g)
出町外六ヶ村用水産。スケールは 100 μ m.

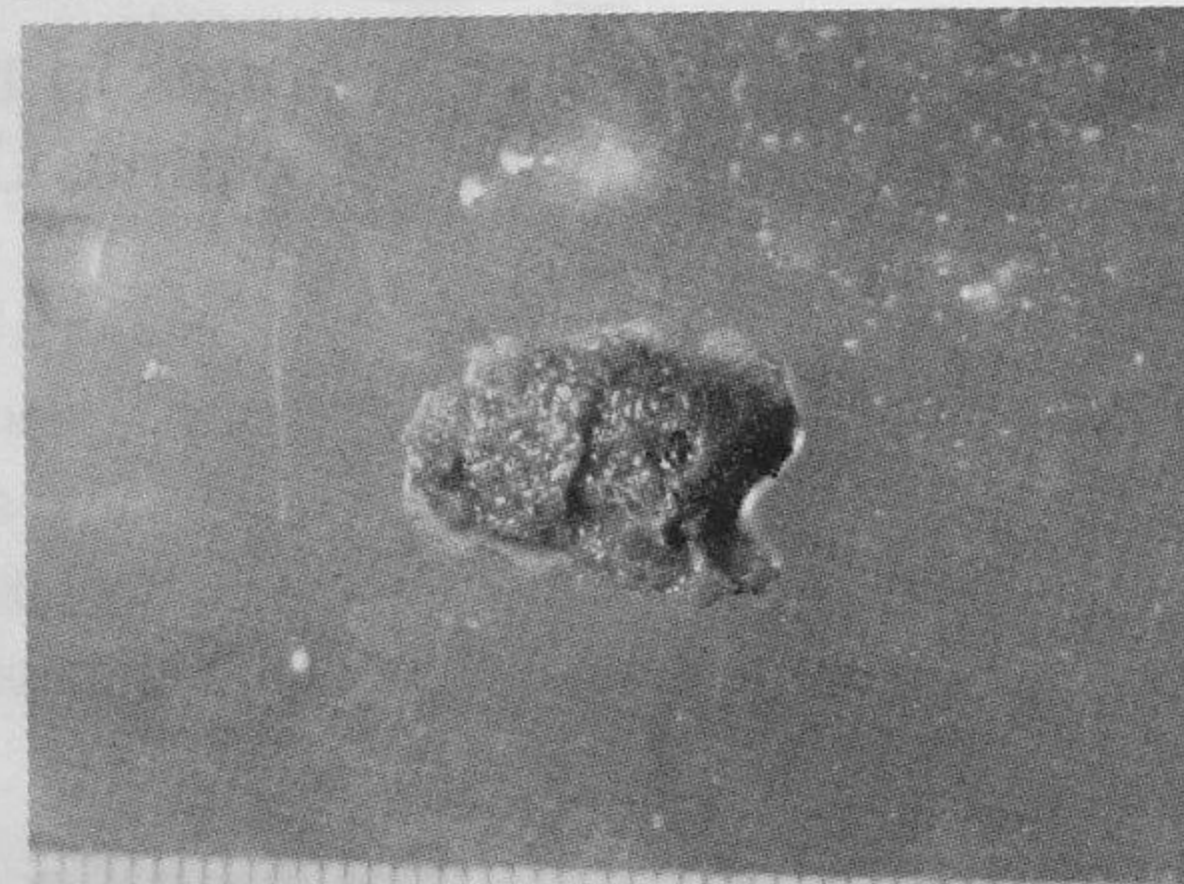
タンスイカイメン科 Spongillidae の 1 種

【特徴】 骨格骨片は平滑

【生息確認場所】 富山県砺波市狐島の上黒石川 (Kami-kuroishigawa)。庄川扇状地の扇端からのおよそ 12km の距離。

【確認日】 2002 年 6 月 3 日

【採取者】 布村昇



タンスイカイメン科の 1 種 (上黒石川)

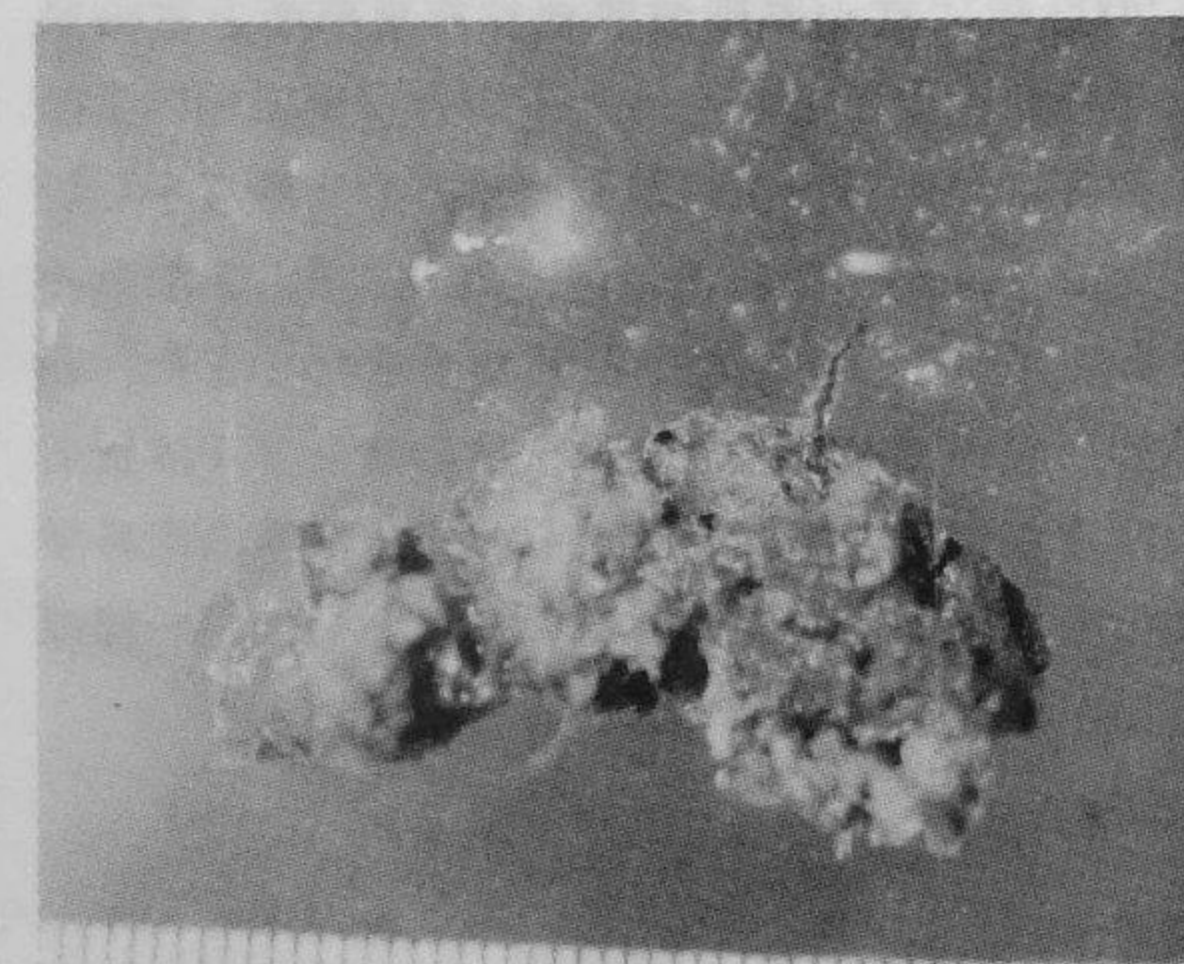
タンスイカイメン科 Spongillidae の 1 種

【特徴】 骨格骨片が平滑。異常形態骨片が多い。

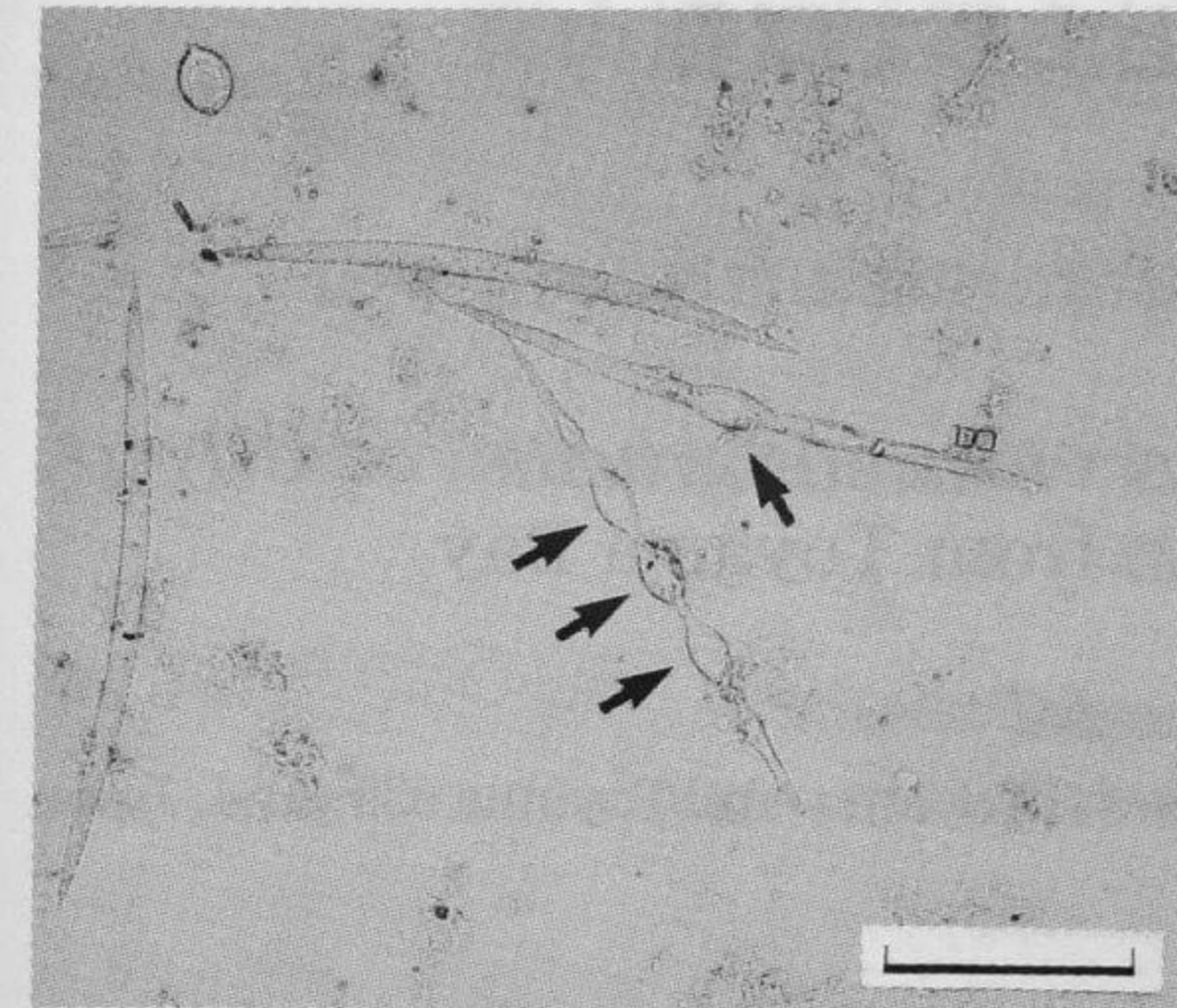
【生息確認場所】 富山県小矢部市水島と砺波市鷹栖境界の狐島 (Kitsunejima) 用水のコンクリート側壁面。庄川扇状地の扇端からのおよそ 10km の距離。

【確認日】 2002 年 6 月 16 日

【採取者】 布村昇



タンスイカイメン科の 1 種 (狐島用水)



膨れ出し (矢印) を持つ骨格骨片、狐島用水産。
スケールは 100 μ m.

【コメント】 骨格骨片しかなかったものの形態の異常な骨格骨片をもち興味深い。この海綿が芽球を形成した場合、異常な芽球骨片を作るのではないかと想像される。調査は春から夏にかけて行われ、今後、夏から秋にかけて芽球は形成期での調査が必要である。